



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会<http://www.koguma.ed.jp>

ふれあい遠足

5月26日(金)、快適な陽気の中大きなバスに乗って『夜須高原』に行きました。公園では、長いローラー滑り台で何度も楽しむお友だちもいれば、ドキドキしながら慎重に綱を登って行くお友だち、広い場所が嬉しくて芝生の上を思いっきり走るお友だち等、様々な表情を見ることができました。お昼は、保護者の方の手作りお弁当でエネルギーを補給し、午後からもうひと遊び！毎年同じ公園に行くひとりのお子様の成長が見え、毎日の積み重ねの大切さを改めて実感することができました。初めて参加するお子様にとってはまた来年を楽しみに、たくさん刺激を受けた遠足となったと思います。

(児童指導員 平川)

5月16日(火)に『甘木水の文化村』に行きました。心地よい気候の中、クラス対抗そりりレーをしたり、ローラー滑り台やターザンロープなどたくさん遊具で遊び思い切り体を動かしていました。初めて遊ぶ大きな遊具に少しドキドキしたお友だちもいましたが、お母さんやお友だちと一緒にチャレンジし、たくさんの“楽しい”を感じていました。おいしいお弁当の後は、シャボン玉や長縄飛びをし、子ども達と保護者の方のとびきりのジャンプと笑顔があふれていました。普段とはまた違うお子様の表情が見れた一日になりました。

(児童指導員 立山)

《はぐ》

ふれあい遠足に
行ってきました

 心の窓


～4歳当時～

 べあクラブ
 やまぐち
山口 あゆみさん


あゆみは4才の時に風呂でおぼれて、今の状態になりました。約3ヶ月入院し、退院が決まっても、突然の出来事で帰ってからも、どうやって生活していいかわからないで一杯でした。

そんな時、病院の相談員さんからいろいろ教えて頂き、こぐまを紹介して頂きました。

そこで、OT・PTの先生、保育の先生、たくさんのお友達と知り合うことができました。そこで出会ったお母さん達の明るさと前向きな子育ての姿勢に私もたくさん元気と強さをもらいました。

あゆみは体力はあったようで、1日も休まず、通うことが出来ました。雨の日も雪の日も「こんな日に登園してくるのは、あゆちゃんのことと何人かよ。」と言われる程でした。給食もそのころは流動食を食べていましたが、栄養面もすっかり考えて頂きました。こぐまを卒園する時に先生2人がギターを弾きながら、ゆずの「また会える日まで」

を歌ってお祝いくださったのが今でも心に残っています。

その後、普通小学校に入学し1年生から6年生まですべての児童と触れ合わせて頂き、名前もおぼえてもらって、声もかけてもらいました。あゆみも元気に登校できました。

中学校からは小郡特別支援学校に通いました。先輩や同級生からもよく声をかけてもらい、昼休みにも教室に遊びに来てくれました。あゆみも嬉しそうでした。

高校に上がってもたくさんの先生に抱っこして頂き、たくさんのお友達に声をかけて頂きました。先生大好き、お友達大好きなあゆみでした。学校が休みの日でも、行きたいと泣いていました。

学校を卒業してもう2年になります。今は、べあクラブに週2日通っています。汗をかきやすいあゆみですが、こまやかに着替えやアイソロンを入れて頂き、喜んで通っています。

歌舞伎大好き、ちびまるこちゃん大好き、嵐の松潤好きのあゆみさんです。これからも、よろしくお願いします。
 （山口あゆみの母）



こぐまLINE


 生活支援員
 えんどう たける
遠藤 武流

皆さん、こんにちは。生活支援員3年目の遠藤武流と申します。初めましての方もいらつしやると思いますので、この場をお借りして少しでも私の事を知って頂ければと思います。

私は佐賀県の大和町というところで育ちました。これと言って有名な物などはありませんが、町の人々は優しく、とても住みやすい町だと思っています。

自分は小・中と水泳をしており、高校では水球というスポーツを日々頑張っていたごく普通の男子でした。そんな中、高校2年の時に、学校を卒業された先輩の話を聞く機会があり、その先輩が保育士をされており、こういう所が面白い、こういう面が大変等の話を聞いていく内に、段々と興味が湧いてきて、その道を目指したいという目標ができました。高校卒業後は目標にしていた保育士になるべく、先輩が通っていた短期大学に入学することにしました。通っていく内に聞いていた事を実習で何も出来ていない自分と、現場の難しさを感じた時に、「保育士には

向いてないな」と自分自身思い始めるようになりました。

月日が流れ、施設実習を受ける事になり、初めて知的障がい者の方々と関わる機会があり、はじめは、どう接してよいかわからなかったのですが、関わっていく中で利用者の方から緊張している自分に気軽に接してもらい、一緒に遊んだり、とても楽しい日々を過ごすことが出来ました。その実習の中で大変だった反面、楽しかった事の方がとても多く、この事をきっかけに「もっと関わってみたい」という思いが強くなりました。

こぐま学園に入職してからは、新たな発見や学ぶことがたくさんあり、利用者様一人ひとりが気付けられることが何よりも多かったです。

はじめは自分に務まるのかとても不安でしたが、今こうして就職させて頂き、毎日利用者様から元気を頂いたり、癒されたり、楽しんだり、一緒に喜怒哀楽を感じ、毎日本当に楽しいです。

これからも利用者様のお役に立てるよう、1年目の頃の気持ちを忘れずに、頑張っていきたいと思っています。

長くなりましたが、これからもよろしく願っています。



Work Step 余暇活動

5月29日(月)、佐賀県の『どんぐり村』へ行ってきました。

利用者の皆さんで日程、行先、時間、金額等の内容について、ミーティングを重ね、楽しみに計画してきました。

当日は今年に入って一番の暑さとなり、外を歩くには少々ハードな日となりましたが、暑くてもたくさん緑に囲まれた自然の中を歩き、よい運動になりました。大きな角のヤギに驚き、馬や豚に餌をあげたり、ぬいぐるみのようなウサギやモルモットをなでる等、動物との触れ合いもできました。

昼は木陰にシートを敷き、お弁当タイム。おしゃべりをしながら楽しく過ごしました。午後は輪投げゲームをしたり、お土産屋さんをのぞいたりした後、早めにどんぐり村を出発し、『道の駅大和』へ。いろいろな土産物を見て楽しみました。仲間と一緒にの外出でリフレッシュできた余暇活動の一日でした。

(生活支援員 別府)



あおむし

初めて集団療育に入るお友だちの週1回のグループです。現在19名が通っており、それぞれ月曜と土曜に分かれて登園しています。大好きなお母さんやお父さんお友だちといっぱい遊んで、キラキラの笑顔を見せてくれています。



ばいく

3～4歳のお友だち6名のグループです。集団でのルールや順番待ちをお母さんと一緒にあそびながら学んでいます。元気いっぱい、笑顔いっぱいに過ごしています☆



ひよこ

初めて集団に参加するお友だちのグループです。お母さんと一緒にたくさんの遊びを経験しています。「楽しいな♪」をいっぱい感じていこうね!



へりこぷたー

年長児5名のお友だちが通っています。みんなで作ったコマを回し、競争をしている写真です。回し方が分からないお友だちに優しく教える姿も見られました。今はみんなで長縄飛びに挑戦中です。みんなで10回を目標に頑張ります。

グループ紹介



とらっく

4歳児9名のお友だちが通っているグループです。毎週、様々な遊びにチャレンジしています。身体を動かすことも大好きですが、制作も真剣に取り組んでいます。みんなで作ったトラックの絵、すてきでしょう!!



つぼみ

1～2歳児のお友だちが通っています。集団療育が初めてのお友だちで、お母さんと一緒に活動を楽しむ中で、この遊び“楽しいな”“好きだな”を沢山見つけて行きたいと思います。



ひこうき

総勢18名の年長児グループです。療育は2つに分かれて小集団で行っています。お当番活動とフルーツバスケットの様子です。みんなお友だちと一緒に楽しんでいます♪



ばす

どきどきわくわくを胸にいっぱい持っている、年中さん9名のグループです。お家の方に見守ってもらいながら、活動の中で「自分でできた」をたくさん経験し、心も体も成長中です。

愛らんど宿泊体験

生活介護事業所「愛らんど」では、入所施設やグループホームなどでの生活を見据え、自宅とは異なる環境の中で過ごす機会として、毎年宿泊体験を行っています。

今年も6月17日(土)・18日(日)に夜須高原にある『やすらぎ荘』へ行き、宿泊体験を行いました。

初日は、入所施設などでも行われているレクリエーションや製作活動を行いました。製作活動では、布製のトートバックに好きな柄のペーパーナプキンを使用しオリジナルのデコパージュバッグを作りました。早く帰りたい方やお母さんにプレゼントしたい方など様々な想いで製作に取り組みしていました。

2日目は、夜須高原にある『記念の森』へハイキングに行きました。アスレチック、頂上までのハイキング、また記念の森に遊びに来ていた地域の方々と会話を楽しんだ方など様々な過ごし方をされていました。天候にも恵まれ、様々な活動ができ充実した2日間でした。

(生活支援員 山口)



愛らんど社会体験

5月20日(土)、生活介護事業所「愛らんど」では社会体験の一環として、小郡市内にあるカラオケ店に行きました。

いつもと違う環境に少し緊張しながらも、それぞれ好きな曲を熱唱したり、曲に合わせてタンバリンを叩いてリズムをとったりと笑顔で楽しまれていました。また、静かに移動する、落ち着いて行動するなど、公共のマナーを意識しながら楽しむことができた社会体験になりました。

(生活支援員 井口)

交流保育を行います

児童発達支援センター「ゆう・はぐ・しろくま」では、療育の一環として、地域の幼稚園・保育園との交流保育を行っています。

今年度は、6つの園のご協力をいただき、28名の契約児さんが、同年齢の子どもたちのクラスに入り、保育を経験します。たくさん刺激を受けて、貴重な経験を積み重ねていただきたいと思います。

◇交流先◇

三国保育所
味坂保育園
久留米天使子ども園
真愛保育園
ごじよう保育所
太宰府南保育所

(保育士 西本)

夏まつりのお知らせ

今年もこぐま学園夏まつりを開催致します。焼きそば・カレーライス・かき氷等の飲食コーナーに、こぐま名物のお化け屋敷、フィナーレには花火等楽しい企画を計画中です。夏休みの思い出に、ご家族揃ってぜひご参加下さい。

《日時》8月27日(日)

17時～20時15分 ※雨天決行

(夏祭り実行委員 市丸)

Smile work 開所

多機能型事業所愛らんど(おとな支援部)では、平成29年7月より就労継続支援B型事業所を開所します。開所日は、月・金曜日、仕事内容は、企業委託の菓子製造・パッケージ作業等です。

障がいにより企業に就職する事が困難な方に、就労・その他の機会を提供し、「仕事が好きや幸せの源になる」をテーマに、特性に合わせた生活面や就労面の総合的支援と次のステップアップに繋がる支援を行います。宜しくお願い致します。

(おとな支援部 横尾)

行事予定



7月

- 1日(土) プール開き
- 13日(木) 保護者向け一般救急法講習会
- 15日(土) 第7回こぐま学園
発達支援セミナー
- 28日(金) 避難訓練

8月

- 1日(火) ゆう・はぐ・しろくま
ウォーターランド
- 8日(火)～10日(木) 小学生キャンプ
- 12日(土)～15日(火) 夏季休暇
- 17日(木)～19日(土) 中高生キャンプ
- 18日(金)～19日(土)
べあクラブ宿泊体験①

- 19日(土) 避難訓練
- 27日(日) 夏まつり
- 28日(月) 夏まつり振替休日

9月

- 1日(金)～2日(土)
ゆう・はぐ・しろくま
年長児お泊り保育
べあクラブ宿泊体験②
- 9日(土) ときめきスポーツ大会
- 12日(火) 避難訓練

お知らせ

こぐまCafe

こぐま福祉会をご利用になる皆様がつろいで頂けるスペースを作りました。お子様やお友達との語らいやランチタイムにご利用ください。(おとな支援部 横尾)

保護者向け一般救急法講習会を実施しました

7月13日(木)、三井消防署のご協力のもとアリーナ棟にて行いました。(事業部長 木下)

避難訓練を実施しました

5月17日(水)、地震を想定した避難訓練を実施しました。訓練時にご家族の方も真剣に取り組まれていました。

(防災安全委員 木下)

退職者紹介

○田中芳治(運転手・5月末)
○平川留実(保育士・6月末)
○山下雅代(理学療法士・6月末)
今までありがとうございました